

2025 年 腎疾患看護問題

問1 腎臓について正しいのはどれか。

1. 腹腔内にある。
2. 加齢とともに肥大する。
3. エリスロポエチンを産生する。
4. ビリルビンを産生する。

問2 血液の pH について正しいのはどれか。

1. 腎不全の場合はアシドーシスに傾く。
2. 7.40 を示した場合はアルカローシスといわれる。
3. 窒息の場合はアルカローシスに傾く。
4. 調節は主として脾臓と肝臓とで行われている。

問3 酸塩基平衡の異常と原因の組合せで正しいのはどれか。

1. 代謝性アルカローシス — 下痢
2. 代謝性アシドーシス — 嘔吐
3. 代謝性アシドーシス — 慢性腎不全
4. 呼吸性アシドーシス — 過換気症候群

問4 無尿をきたしている患者の輸液に含まれると生命の危険を生じるのはどれか。

1. Na^+
2. Ca^{2+}
3. Cl^-
4. K^+

問5 腎盂腎炎について正しいのはどれか。

1. 両腎性である。
2. 初尿を用いて細菌培養を行う。
3. 肋骨脊柱角の叩打痛が特徴である。
4. 原因菌は Gram 〈グラム〉陽性球菌が多い

問6 急性糸球体腎炎について正しいのはどれか。

1. 思春期に好発する。
2. B群溶血性レンサ球菌感染後に発症する。
3. 血尿、浮腫、高血圧が三大症状である。
4. 副腎皮質ステロイド薬が有効である。

問7 ネフローゼ症候群で必ずみられるのはどれか。

1. 血尿
2. 体重減少
3. 低蛋白血症
4. 低コレステロール血症

診断基準はテストに出る。

問8 腎前性腎不全が起こるのはどれか。

1. 前立腺肥大症
2. 急性心筋梗塞
3. 急性尿細管壊死
4. 急性糸球体腎炎

問9 慢性腎不全で低下するのはどれか。

1. アルブミンの合成
2. 赤血球の産生
3. 血液の浸透圧
4. 動脈血の酸素分圧

問10 慢性腎不全で正しいのはどれか。

1. 高蛋白食が必要である。
2. 高カルシウム血症となる。
3. 最も多い原因は腎硬化症である。
4. 糸球体濾過値〈GFR〉は正常である。
5. 代謝性アシドーシスを起こしやすい

問11 透析導入患者の原疾患として最も多いのはどれか。

1. 慢性糸球体腎炎
2. 多発性嚢胞腎
3. ループス腎炎
4. 糖尿病腎症
5. 腎硬化症

問12 慢性腎不全で透析導入を判断するときの指標となる検査はどれか。

1. 尿酸〈UA〉値
2. 糸球体濾過値〈GFR〉
3. 点滴静注腎盂造影〈DIP〉
4. PSP〈フェノールスルホンフタレイン〉15分値

問 13 血液透析の導入期の看護で適切なのはどれか。

1. 飲水は制限しない。
2. 不均衡症候群に注意する。
3. 透析実施中の歩行を促す。
4. 血圧はシャント肢で測定する。

問 14 血液透析患者の問題として考えにくいのはどれか。

1. カリウム欠乏症による不整脈の出現
2. 心不全による入退院の繰り返し
3. エリスロポエチン欠乏による貧血
4. 食欲低下による栄養失調

問 15 血液透析患者の食事指導で正しいのはどれか。

1. 高蛋白食にする。
2. 高リン食にする。
3. 炭水化物を制限する。
4. 果物は制限する。

問 16 血液透析を受けている患者への食事指導で適切なのはどれか。

1. 乳製品の摂取を勧める。
2. レバーの摂取を勧める。
3. 穀物の摂取を制限する。
4. 生野菜の摂取を制限する。

問 17 維持期の持続的携帯型腹膜透析（CAPD）で正しいのはどれか。

1. 透析回数は週に2、3回行う。
2. 血液透析よりも食事制限は少ない。
3. 心血管系への負担が血液透析より大きい。
4. 終了後はカテーテルを抜去する。

問 18 血液透析と比較した連続携行式腹膜灌流法（CAPD）の特徴はどれか。

1. カリウム制限が厳しい。
2. シャント造設が必要ない。
3. 週あたりの透析回数が少ない。
4. 不均衡症候群が出現しやすい。

問 19 連続携行式腹膜灌流法（CAPD）で誤っているのはどれか。

1. 社会復帰が可能である。
2. 血管確保が必要である。
3. 家庭で実施可能である。
4. 無菌操作が必要である。

問 20 次の文を読み問題に答えよ。

34 歳の男性。運送会社で配達を担当している。6か月前の職場の健康診断で、血圧 142/90mmHg、尿蛋白(2+)、尿潜血(2+)を指摘されたが放置していた。1週前、風邪症状の後に紅茶色の尿がみられたため内科を受診した。血清 IgA が高値のため精査が必要となり入院した。

問題 1

経皮的腎生検を行うことになった。説明で適切なのはどれか。

1. 「左右交互に横向きになって両方の腎臓に針を刺します」
2. 「針を刺すときは深呼吸を繰り返してください」
3. 「検査2時間後に止血が確認できたら歩いてかまいません」
4. 「検査後2週間は重い物を運ぶ仕事は控えてください」

問題 2

検査の結果、IgA 腎症と診断され昼間だけの勤務に変更した。塩分1日7g以下の食事制限と3か月ごとの定期受診が指示された。塩辛いものが好物で外食の多い患者は「塩気がなくて食べた気がしない」と減塩食に物足りなさを感じている。対応で適切なのはどれか。

1. 「酸味や香味を利用するとよいでしょう」
2. 「各食事で均等に食塩を摂取しましょう」
3. 「市販のレトルト食品は塩分が少ないので活用するとよいです」
4. 「料理は人肌程度の温度にすると塩味をよく感じるができます」

問題 3

仕事が忙しくなり、退院後は一度も受診をせずに2年が経過した。2か月前から疲れやすくなったが、仕事のせいだと思い放置していた。1週前から息切れ、食欲不振および浮腫が出現し、昨日から眠気と嘔気および嘔吐とがあり外来を受診した。体温 36.5°C。脈拍数 98/分。血圧 238/112mmHg。血液検査で尿素窒素 100mg/dℓ、クレアチニン 12.0mg/dℓ、Hb7.1g/dℓ。胸部エックス線写真で心拡大と肺うっ血とが認められ入院した。直ちに行われるのはどれか。

1. 輸血
2. 血液透析
3. 利尿薬の内服
4. 胸腔ドレナージ

問 21 次の文を読み問題 1~3 に答えよ。

40 歳の男性。自営業。慢性糸球体腎炎によるネフローゼ症候群の診断を受け、3 年前から食事療法と副腎皮質ステロイド療法とを受けてきたが、徐々に腎機能が低下してきた。1 週間前にかぜをひき、頭重感、嘔気、食欲不振および尿量減少を訴えて入院した。入院時、脈拍数 92/分。呼吸数 32/分。血圧 188/120mmHg。血液検査では BUN（尿素窒素）96mg/dℓ、血清クレアチニン 7.1mg/dℓ、カリウム 5.6mEq/ℓ、呼吸困難を訴え、顔面浮腫および下肢の冷感、浮腫がみられた。食事は腎不全食で 2,100kcal/日であるが、摂取しているのは半分くらいである。保存的療法で改善しないため血液透析療法を行う予定である。

問題 1

入院時のアセスメントとして適切でないのはどれか。

1. 慢性腎不全の増悪期である。
2. 末梢循環障害がみられる。
3. 感染を起こしやすい。
4. 体液の恒常性は維持されている。

問題 2

この時期の看護で適切でないのはどれか。

1. 必要エネルギーの補足としてアイスクリームをすすめる。
2. 間食に果物をすすめる。
3. 皮膚の清潔を保持する。
4. セミファウラー位とする。

問題 3

血液透析療法を受ける患者への説明の内容で適切なのはどれか。

- a. 薬物療法の中断
 - b. 運動の禁止
 - c. 透析の所要時間
 - d. シャントの管理
1. a, b
 2. a, d
 3. b, c
 4. c, d

問 22 次の文を読み問題 1～3 に答えよ。

43 歳の女性。最近、仕事が忙しく多忙になったため疲労が蓄積していた。1 か月で体重が 8 kg 増加し、頭痛、息切れ、嘔気、および浮腫が現れ、腎機能低下によって緊急入院した。入院時、体温 36.8℃、呼吸数 28/分、脈拍数 82/分、血圧 184/102mmHg。血清生化学所見は、尿素窒素 89mg/dℓ、クレアチニン 9.2mg/dℓ、K⁺ 6.9mEq/ℓ、血糖 110mg/dℓ、eGFR 4.3ml/分/1.73m²であった。胸部エックス線撮影では肺うっ血が認められた。入院後、うとうと眠っていることが多く、手足のしびれや脱力感を訴えている。25 歳の妊娠中から蛋白尿が出現し、その後も続いていたが放置していた。

問題 1

入院時のアセスメントで正しいのはどれか。

1. CKD の G2 である。
2. 心停止の危険性が高い。
3. 低血糖症状が疑われる。
4. 直ちに血圧を下げる必要がある。

問題 2

治療で倦怠感や脱力感は改善したが、肺うっ血症は改善しないため、鎖骨下静脈にカテーテルを挿入し、緊急血液透析を行うことになった。透析導入時の看護で適切なのはどれか。

1. 足浴で浮腫の改善を図る。
2. 食べたいものを家族に持参してもらう。
3. 頭痛が起きやすいので鎮痛薬を渡しておく。
- ④ 出血の徴候がないか確認する。

問題 3

内シャントを造設し、血液透析を行うことになった。退院時に向けた説明で正しいのはどれか。

1. 「水分制限の必要はなくなります」
2. 「骨がもろくなることがあります」
3. 「腎機能が改善すれば透析の必要はなくなります」
4. 「汗をかかないように心がけてください」

問 23 次の文を読み問題 1～2 に答えよ。

55 歳の男性。妻と高校生の息子との 3 人暮らし。会社の経理部長。まじめで几帳面な性格。仕事を生かがいにも働き続け、同期入社の中では一番高い職位にある。慢性腎不全のため 5 年間血液透析を行った後、本人の強い希望で連続携行式腹膜灌流法 (CAPD) を導入することになった。本人は一刻も早い職場復帰を望んでいる。入院中は CAPD の操作に熱心に取り組んでいた。

問題 1

退院後、CAPD は 1 日 4 回 (0 時、6 時、12 時、18 時) 行うことになった。会社の昼休みに CAPD を行うために必要な設備はどれか。

- a. 実施する場所
- b. 透析液を保管する冷蔵庫
- c. 透析液を温める電子レンジ
- d. CAPD の物品を保管する専用棚

1. a, b

② a, d

3. b, c

4. c, d

問題 2

退院後 2 週間で元の部署に戻り、その後は順調に経過し、自信を持ち始め 6 か月が過ぎた。しかし、仕事が忙しく、CAPD の実施が 2 時間程度遅れたり、急いで操作することも多くなった。3 日前からカテーテル出口部が発赤し、圧痛がみられるようになったため、外来を受診した。観察項目で重要なのはどれか。

- 1. 体重増加
- 2. 出口部からの液漏れ
- 3. 努責時の腹壁の膨隆

④ 排泄の混濁

問 24 腎前性急性腎不全について間違っているのはどれか

- 1. 脱水や過度の利尿などによって引き起こされることがある
- 2. 循環血液量の減少や心拍出量の減少により引き起こされる
- 3. 腎機能は可逆性であることが多い
- ④ 腎血流量自体は変わらないが、糸球体の機能が阻害された状態のことである

問 25 腎後性急性腎不全について正しいのはどれか

- 1. 腫瘍や結石、前立腺肥大などの尿路閉塞で引き起こされる ✓
 - 2. 超音波検査などで尿路の状態を確認する必要がある ✓
 - 3. 尿路の閉塞や損傷によって尿細管の内圧は下がる
 - 4. 一般に予後が悪く、腎機能も不可逆な例が多い
 - 5. 水腎症を呈するため、腎臓は大きくなる特徴がある
- a. 1, 2, 3 b. 2, 3, 4 c. 3, 4, 5 ④ d. 1, 2, 5 e. 1, 4, 5

問 26 次の文を読み問いに答えよ。

A さん(50 歳、男性、会社員)は妻と高校生の息子との 3 人暮らし。仕事を生きがいに働き続けていた。慢性腎不全のため透析治療が必要になったが、本人の希望で連続携行式腹膜灌流法(CAPD)を導入することになり入院した。A さんはこれからの生活がどのようなになるのかを看護師に質問した。

A さんは主治医から CAPD の合併症に腹膜炎があると聞きました。「腹膜炎に早く気付くにはどうすればよいですか」と看護師に質問した。

Aさんに指導する観察項目はどれか。2つ選べ。

- ①. 腹痛 ✓
- 2. 体重の増加
- 3. 腹部の張り
- 4. 下肢のむくみ
- ⑤. 透析液の排液の濁り

問 27 次の文を読み問題1～3に答えよ。

Aさん(47歳、男性、会社員)は妻と2人暮らしで、自宅の室内で犬を飼っている。15年前に慢性糸球体腎炎と診断され、徐々に腎機能低下が認められたので、2年前から慢性腎不全のため血液透析療法を週3回受けている。今回、弟から腎臓の提供の申し出があり、生体腎移植の目的で入院した。入院3日、Aさんの生体腎移植手術は予定通り終了した。

問題1

Aさんの手術直後に観察すべき項目で優先度が高いのはどれか。

- 1. 尿量
- 2. 血糖値
- ③. 白血球数
- 4. シャント音

問題2

Aさんは術前からタクロリムスなど複数の免疫抑制薬を服用している。Aさんは「移植したら免疫抑制薬を飲む必要があることは分かっているのですが、退院後は何に気を付ければよいですか」と看護師に質問した。Aさんへの看護師の説明で適切なのはどれか。

- 1. 「犬は今まで通り室内で飼育できます」
- 2. 「グレープフルーツは摂取しないでください」
- 3. 「感染予防のため風疹のワクチン接種をしてください」
- 4. 「薬を飲み忘れたときは2回分をまとめて服用してください」

問題3

Aさんは順調に回復し、移植後の拒絶反応もなく退院することになった。Aさんは「腎臓が悪くなってから気を付けないといけないことが多かったのですが、移植してこれまでの制約がなくなりますね」と話した。Aさんの退院後の生活で継続が必要なのはどれか。

- 1. 蛋白質の摂取制限
- 2. 週3回の通院
- 3. 水分の制限
- 4. 体重の管理